

厚生文教常任委員会会議録

- 1 日 時 令和2年3月16日(月)
13時15分開会 14時00分開会
- 2 会議場所 役場3階第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：高橋政悦 副委員長：中河つる子
委員：川上 均、鈴木孝寿、西山輝和、中島里司
議長：加来良明
- 4 事務局 事務局長：山本 司、次長：宇都宮学
- 5 説明員
- 6 議 件

(1) 議会報告会と町民との意見交換会について
(2) その他
- 7 会議録 別紙のとおり

委員長（高橋政悦）：皆様お疲れさまです。定例会終了後、只今より厚生文教常任委員会を開会する。

（１）議会報告会と町民との意見交換会について

委員長：本日の議件は、前回の委員会で宿題として、委員の皆様に出していた町民との意見交換会のテーマについてである。それぞれの委員さんのご意見を伺いたいと思う。

ちなみに、総務産業常任委員会では決まっていないそうである。

加来議長：総務産業常任委員会は3月19日に開催予定である。

委員長：総務産業常任委員会は3月19日に開催予定である。

議会運営上、ためになるテーマがないというのであれば、無理にテーマを設定する必要はないのかなど。根本的にテーマを設けてというのは出ているが、無理矢理につくっても、町民の方々に失礼でもあるし、こんなに長い間、皆さんに考えていただいたが、ないということのようなので。

鈴木委員：まず、議会報告会のこれまでの構成を考えると年輩の人たちがどうしても多い。そして、男の人たちが多い。個人的な主観というわけではないが、客観的な部分から見て、さまざまな若い世代たちの意見を取り入れていかなければならないということで絞っていくと、子どもたちに、どうしてもなってしまう。昨年は新しく子育ての関係ということであったが、今年は思い切って踏み込んで、小中学生に向けてICTの活用若しくは親が考える子どもたちの今後の望む教育姿勢というか、そういう部分を議題にしてもいいのかなど。まさに、これはPTA世代というか、子育て世代に向けた、この前は幼保であったが、今回はちょっと1つ学年を上げてみて、子どもたちのICT活用の部分について、どういうふうに要望しているかということを知りたいというような部分もある。本当は、体育・文化というのもやってみたいと思ったが、時代に合わせて考えていくと、今、清水で足りない部分というのはどういうところなのかというところで、思い切ってICTの取り組みをどういうふうに要望しているのかというのを親世代から聞いてみたいなど。ということで、ちょっと題材の名前がそれでいいかどうかは別としても、そういう部分を厚生文教常任委員会として上げてはいかかかというように端的な感想である。

委員長：只今、鈴木委員のほうからICT絡みの方針のような感じのご意見が出たが、広く町民に求めるに当たって、ICTとか、そのような表現はふさわしくないというような気もするが、ほかの委員の皆様のご意見を伺いたいと思う。

鈴木委員：それとともに、もう一つ考えたのは、高齢者施設の数字的なものは、それでもまだ待ちがあるという話もある。できれば私は、若い人たちに参加してほしいという気持ちで先程言ったが、厚生文教常任委員会ということで考えていくと、例えば、高齢者系の施設など、それらの今の需要は当然はっきりしているが、町民が今それに対して、多いのか少ないのか、若しくは、もうちょっと医療関係でも一歩踏み込んでほしいのかというところも実際の声を聞いてみたいという気持ちもあった。どちらかにしようかということで、先のほうの子どもたちの教育の絡みで発言したということを申し添えておきたいと思う。

委員長：只今、鈴木委員のほうから、介護施設ということで、それについての町民の皆さんの意見を聴取したいということである。町内介護施設が数か所あるが、いずれも民間である。町民がそこについて、物を申されても、議会として何をどこにどう伝えるか、結構難しい問題になるかと思う。テーマを設けるのは結構大変なことだと思うが、そういうふうに狭めると相手がいることだったりするので、ちょっと厳しい意見をどこにぶつけるのかということになると、議会として何もできないことになりかねない。ということも考えて、ほかの委員の皆様、ご意見をお伺いする。

中河委員：私はごみの減量化という、今度、新しくりんセンターが建つという計画が今ちょっと足踏みしているところで、そういうような意見は、私は聞きたいという気持ちがある。ごみの減量化について町民の皆が思っていることを聞きたい。

委員長：町民の方に意見を聞くのであれば、ごみの収集とそれにまつわる減量化というような形になるかと思う。今までと変わって燃えないごみが多くなったが、収集化される回数は若干増えたようであるが、もっと増やしてほしいという話しかないと思う。増やせられないから、ごみを減量してほしいということで、どうやって減量したらいいのかということ进行讨论するのか。議会との意見交換会で、やりとりするにはちょっと話題が限定的過ぎるというか、もっと、この話題にほかの何かを付加す

るものがあれば、今の町民にとってはいい話題にはなるかと思うが、そのほかのご意見はないか。
中島委員：私は特に議題として持っているわけでないが、今の鈴木委員と中河委員から出された中で、老人施設云々というのは、先ほど委員長からも話があったが、これについては民間企業への物申しだというふうにするのである。町にどういうふうにしてほしいとか、どうあるべきだということがいいのかなという思いもしている。あと、ごみの減量化については、これは確かに題目としてはいいのかなと思いつつも、減量化ということ、ごみというテーマを出したら、どんな話題が出てくるのかなという思いがする。減量化が先に出てくるのだろうか、収集のあり方がどうかとか。そちらのほうから意見を聴取するならわかるような気がする。だめだとか、いいとか言っているわけではなくて、その辺について、これを表に出すとすれば、その辺も考えた上でできなければ、別の方向に行ってしまう可能性があるかなと。今言った収集回数とか、収集日とか、ほかにも出てくるかもしれないし、そういう部分ではどうしたらいいものかなというふうな感じで捉えている。ICTについては、先ほど言った前置きがあるが、若い人たちへの呼びかけというのか、そういう意図を感じる。それらも含めれば、これは議会としても、こういう意見があるということをお知らせすることは可能だろうという思いもする。あえて言えば、それなのかなというか、私は個人的にそういうふう感じたところである。

委員長：実際に意見交換会であるから、8対2ぐらいで町民の意見を聴取し、聞かれたことに対して答える。わかることは、実際のところ、そんな比率だと思う。今の時期、議会が先んじて動くべきテーマとして、厚生文教常任委員会の所管で多くの町民の皆さんが興味あるものは、当然のようにずっとある教育の関係か。若しくは町民の多くが興味を持っているであろう新体育館のことか、そのあり方とか。そういうものをテーマにして町民の意見をよく聞いておくというのも、これから動くべきことがあるとすれば、そういう町民の思いというのを持って動くのが議会かなという気もするが皆様のご意見をお伺いする。

実際の話、大きな話と云ったら、本当に体育館しかないし、その場所であったり、大きさであったり、宿泊施設であったり。これは、皆、どんなものができるのだろうかとかは、まず人口から考えてこのぐらい、場所は空いているこの場所という若干の行政の構想はあるのだけれど、そこには、まだ、町民の話が全然入っていない。今回のこういう機会に、先に、そういう設計というか、調査に入る前に、実は町民はこう思っているというような意見を聞いていると、この後、話が進みやすくなるのではないのかという気はする。

中島委員：ほかのことは別として、体育館に関して、私がちょっと公式ではないが耳にしているのは、アンケート調査をやるということを経験で聞いている。何もなしに、体育館を建設するか、しないかから始まるようなアンケートの内容かはわからないが、そこから始まって町民に何を求めるのかと私は思っている。今、意見交換会でそれを出すと、町民としては重複してしまう。アンケート調査をどういうふうにするかわからないが、内容はある程度固まってきたという段階で聞いている。これは建設準備委員会というか、体育関係者も入っているように聞いているが、具体的なものは詳しくわからない。それをアンケート調査やると。反対が多かったらどうするという話を、これは立ち話でしているが、アンケート調査というのは非常に怖いものだと思っている。というのは、考えていることを書いてきて、それを返せないで、意見交換会とはまた違う。直接聞いて、こうだと思ふというのと違う。体育館については、具体的なものは、行政サイドで全く持っていないというふうには私は聞いている。今、委員長言ったように、ここには空き地があるので、こちらがいいのではないか、あちらがいいのではないかというような段階で町民に意見聴取するのは、私は非常に危険だと思っている。その意見に対して、説明責任を果たせるような状況があるのかどうか。ただ、内容がわからないがそれが今アンケート調査と重複してくるので、今委員長が言われたことはどうなのかなという思いがある。私はそれがなければ、先駆けて直接聞いてみるというのも一つの方法だと思うが、ただ、体育館というのは清水地区、御影地区といったときに考え方は全然違うから。町の体育館ではあるが、地域的な部分があるから、この辺はちょっと難しいのかなという思いはする。

委員長：中島委員の言うことはわかるが、実際の話、アンケートと重複するのではないかについては、とにかく多くの意見がアンケート以外にも意見交換会で集まるということもある。そして、御影と清水の話で、御影の場合はあくまでも改善センターであって、体育館ではない。御影町民も使う清水にある体育館というイメージかと思うが、これは御影の空き地に建つかもれない。その可能性もないこともないということもありだし、先手を打ったほうがいいのではないかという気もする。例えば、令和7年には建つのであれば、今年中に何か走り始めないと、若干後手に回るかなという気もする。

若しくは、それがちょっと厳しいのだとしたら、今、中島委員から、専門家会議のようなものがあるとされたので、その専門家会議を差しおいて、議員が何を言っているという話に…。

中島委員：準備委員会である。

委員長：準備委員会は、要するに最初の取っかかりを任されたということだと思う。だから、そこを差しおいて議会が勝手にやるというのも、おかしな話かなという気もする。大きな目で見ると教育関係全般について、学校教育のあり方という大括りでいけば、その中にICTがあったり、英語教育があったりいろいろ意見が出るかと思うのであるが、去年の例から、子育てでも、本当の世代の真っ最中の人たちが来てくれない。当然、テーマを学校にしても来るかどうか、若干心配なところがあるが、厚生文教常任委員会としては、これからの学校教育というもので、一括りで持って行って、いろいろな意見を聞くというのもありかなという気はする。

鈴木委員：私はICTと言ったが、考えてみたら、去年これからの子育てについてというテーマにしたが、現実的に比較的若い世代は来なかったのである。今回、この委員会で調査している保育所の給食問題も含めてまだ継続中の部分でもあるが、新しい子育ての部分をもう1回聞いてもいいのかなと。給食問題とかも、その時点ではもう既に経過しているので、それもまた一つかなと。同じ議題ではだめだということでもないし、当面この部分をやって、できるだけ興味を持っていただくというような形をとってもいいのかなと今ちょっと思い直している。先ほど言ったICTの関係は、確かに、これを誰に聞くのかという話にも正直に言ってる。今までの参加者から見ていくと、それもまた無理があるなど。体育館も、当然、先駆けてやるのはいいのだが、今のところ体育館の話は1つも議会的には出てきていない。でも、それをやらなければならない、来るのはわかっているが、気持ち的にはちょっと早いかないという気はしないでもない。それはまた別途6月以降の委員会で調べてもいいかなと思ったりもするし、逆に町民から聞くべき部分というのは、そこを聞くべきなのか、それとも引き続きいろいろな人たちが集まるような仕組みをつくっていくほうが手取り早いのかなというような、その両方、運営側の考え方も含めて、今そういうふう思った。そこもちょっと考慮して、皆さんと話し合っていきたいと思うがどうか。

委員長：休憩する。

【休憩 13:38】

【再開 13:53】

委員長：再開する。

ごみの関係については、今、くりりんセンターの後の施設の話が十勝で展開されている最中で、そこには町民の意見が反映されるのは難しいということで、あえて、それをテーマにすることは避けよう。あと、先ほど出た体育館については、今、準備委員会が取っかかりをつくる準備作業中である。そこより先に議会が出るということにもならないであろうということで、テーマ的には、広く町民の意見を、いろいろな意見を聴取するためにも、教育関係とするのであれば、どのようなテーマにするか。

西山委員：厚生のほうで、町民一人ひとりの体づくりとか、健康づくりというような、いろいろな健診もあるだろうし、いろいろな不満も出ているようであるし、健康検診をやっても、一向に伸びていかないという課題も抱えている。これから一人スポーツという、何か新しいものがまた始まるようなので、そういう健康づくりというような取り組みもいいかなと思う。

委員長：健康づくりとかに狭めると、早起きして歩くとかということになったり、であれば、もっとジムの施設を整えてほしいとか、そういう方向にしかならないみたいな…。実際の話、今、西山委員が言った健康に関する問題も、高齢者がやりやすい環境であったり、方法であったり、それを町民の皆さんから聞いたことを広く知らしめるみたいな形もあるのかなと思うが、それもこれも全部合わせて、それは知らされるほうにしてみたら、教育の一環であるから、これからの教育に求めるものという文言で広く意見徴収するというのはいかがか。

加来議長：今の件で、町には保健福祉計画があり、学校教育、社会教育とはまた違う視点だと思う。保健福祉計画についても、介護施設の部分とか、個人の健康診断取り組みとか、町としての計画を立てている中で聴取していくのであれば意味があるかもしれないが、ただ、体づくりをどうするというようなことだけでは、なかなか難しいのでは。教育とは別にしたほうがいいのではないかなと思う。

委員長：健康づくりに関しては、実際のところちょっと分野が違うということで、今後の教育に求めることでもいいし、そのぐらいしかないのかと思う。

では、「今後の教育に求めること」ということで、よろしいか。

(はいという声あり)

委員長：では、厚生文教常任委員会のテーマとして、「今後の教育に求めること」ということで、広く教育全般ということである。学校ばかりではなく、社会教育もということ決定してよろしいか。

(はいという声あり)

委員長：では、議件（１）、議会報告会と町民との意見交換会のテーマについては、「今後の教育に求めること」ということで、町民の皆さんから意見も出ると思うが、議員の皆さんの思いも整理しておくようにお願いしたい。そうすれば、いい答弁ができると思う。

じゃあ、議件（１）は、これでよろしいか。

(はいという声あり)

（２）その他

委員長：では、議件（２）のその他について、委員の皆様から何かあるか。

(なしという声あり)

委員長：その他は事務局も委員の皆さんもないようなので、ここで、常任委員会終わらせてよろしいか。

(はいという声あり)

委員長：それでは、長時間にわたって、いろいろな意見出させていただいてありがとうございます。厚生文教常任委員会はテーマを決めることができたので感謝する。これで厚生文教常任委員会は終了する。

【閉会 14:00】